

(社)地盤工学会 室内試験規格・基準委員会
平成19年度 第1回グループリーダー説明会 議事録

日時	平成19年4月12日(木) 18:00~20:30		場所	地盤工学会 地下会議室	
委員長	後藤 聡		幹事	豊田 浩史	
幹事	川崎 了		WG1グループリーダー	古河 幸雄	
WG2グループリーダー	川地 武	×	WG3グループリーダー	大島 昭彦	
WG4グループリーダー	龍岡 文夫		WG5グループリーダー	北詰 昌樹	
WG6グループリーダー	木幡 行宏	×	WG8グループリーダー	三浦 清一	×

:出席 ×:欠席

議事録担当:川崎 了

配布資料:

資料番号なし:平成19年度第1回室内試験規格・基準委員会グループリーダー説明会議題書

資料-1:室内試験規格・基準委員会グループリーダー名簿

資料-2:基準部会組織図

資料-3:室内試験規格・基準委員会ホームページ

資料-4:平成18年度第1回室内試験規格・基準委員会(H18.10.27開催)議事録

資料-5:平成18年度第2回室内試験規格・基準委員会(H19.3.2開催)議事録

資料-6:平成18年度第1回室内試験規格・基準委員会幹事会(H18.9.1開催)議事録

資料-7:平成18年度第2回室内試験規格・基準委員会幹事会(H18.12.6開催)議事録

資料-8:基準部会『学会基準の刊行に関する検討WG』報告書

資料-9:赤本の改訂作業に関する編集工程案

資料-10:平成19年度委員会予算案

資料-11:地盤工学会謝金支給規定

資料-12:『地盤調査の方法と解説』原稿料・調整料・校正料計算表

議事:

1. 室内試験規格・基準委員会委員長挨拶

後藤委員長より、自己紹介およびグループリーダーに対する挨拶が行われた。

2. 出席者の自己紹介

資料-1

出席者の席順に従って自己紹介がなされ、グループリーダー名簿の確認が行われた。

3. 赤本の編集作業に関する組織

資料-2~資料-3

後藤委員長より、基準部会および室内試験規格・基準委員会の新旧各組織について説明がなされた。また、WGの活動状況がわかるように、WGの議事録を地盤工学会のホームページに適時ア

アップロードして欲しい旨の要請がなされた。

4. 赤本の編集作業に関する基本方針(趣旨説明) 資料 - 4 ~ 資料 - 8

これまでの準備状況をグループリーダーに理解してもらうため、豊田幹事より第 1 回および第 2 回の室内試験規格・基準委員会の議事録を用いて赤本改訂に関連する部分を中心に説明が行われた。その中で、赤本改訂においては、土と岩の試験方法を統一的に論じること、改訂作業の経過は可能な限り情報公開を行うこと、などの目標が示された。また、地盤工学会の中長期アクションプランに関する説明があり、今後は 5 年単位で赤本の改訂を推進することが計画目標となっていることが紹介された。

『学会基準の刊行に関する検討 WG』報告書に関しては、学会基準の刊行物に関する現状の分析結果(メリット, デメリット)および検討結果(同報告書の提案)について紹介がなされた。その後に行われた質疑応答の主な内容は、次のとおりである。

- 1) グループリーダーは室内試験規格・基準委員会の構成メンバーに含まれるかどうか議論した結果、グループリーダーは WG 活動に専任してもらうこと、各 WG からは 1~3 名の幹事を代表者とする、WG 幹事は WG の窓口となり委員会とのパイプ役を果たしてもらうことが了承された。なお、必要に応じてグループリーダー会議を適時開催することとした。
- 2) 各 WG の作業負担(対象とする基準数の多少)がかなり異なっていることから、WG のメンバー選出および予算配分の際に考慮することになった。
- 3) 現行の基準の見直しについて議論した結果、各 WG で最初に見直しの必要性について検討を実施することにした。

5. 赤本の編集工程 資料 - 9

川崎幹事より、赤本の改訂作業に関する編集工程について説明が行われた。その主な内容は、平成 21 年 10 月末日に赤本を発刊すること、平成 19 年 9 月から基準の解説の執筆作業が始まること、平成 19 年 5 月 25 日(金)開催予定の室内試験規格・基準委員会において、赤本改訂の基本方針、WG のメンバー構成、目次などが審議されること、などであった。

引き続き行われた質疑応答の結果、以下のことが確認された。

- 1) WG 活動は平成 19 年 4 月より可能である。なお、早急に WG 幹事会を開催する必要がある。また、今後選定される WG メンバーについては、基準部会で承認された後に委員会予算が使用可能となる。
- 2) 各 WG において、最初に現行基準の見直しの必要性について検討を実施する。
- 3) 例えば「WG4: 力学特性」のように基準の数が多い場合にはサブグループリーダーの設置が必要であり、その設置については各 WG の判断で適宜対応する。
- 4) 基準の見直しを行う場合には、基準の改正案の承認をスムーズに進めるために、基準部会および理事会に対して上申する予定時期を事前に予告しておく。
- 5) 編集工程表において、作業内容の節目となる締切期日を明確に示す。
- 6) 作業内容の遅延を防ぐため、遅れている WG がある場合には当委員会幹事会が厳しく督促を実施する。

6. 今後の編集作業の進め方

主に基準の見直し作業について議論した。その結果、基準の見直し調査(基準の改正が必要かどうか判断すること)は6月末日までに完了(厳守)させ、その後の作業延長は認めないことにした。すなわち、6月末日までに基準の見直し調査ができる範囲内で作業を行うものとする。また、基準の見直しに関する編集工程を、次のように変更することになった。見直し改正(平成19年7~9月の3ヶ月間)、基準部会承認(平成19年10~11月の2ヶ月間)、土と基礎入稿(平成19年12月末)、公示期間3ヶ月(平成20年3月~5月)、意見への修正(平成20年6~7月)、理事会承認(平成20年8~9月)

7. 平成19年度の予算

資料 - 10~12

豊田幹事より、平成19年度の委員会予算案(第4次案)について説明が行われた。室内試験規格・基準委員会として使用できる予算は一般会計と刊行事業特別会計の2種類があり、それぞれ順に1,930千円、2,800千円である。なお、後者は赤本の改訂作業のための特別会計からの借入金であり、赤本発刊後の売上げ収入により返金する必要がある。すなわち、刊行事業特別会計に関しては、使用した予算が赤本の販売価格に大きく影響することから、後藤委員長より赤本の販売価格をできるだけ下げよう努力して欲しいこと、予算は一般会計を先に使い切ってから特別会計を使って欲しいこと、などの依頼があった。

また、今回の赤本改訂に関しては、原稿料を支給しないとする当委員会幹事会案について議論した。その結果、原稿料の有無はWGメンバーを依頼する際に必要な情報であることから、幹事会において再度検討を実施した後、平成19年4月18日(水)までにグループリーダーへ回答することになった。

さらに、各WGの予算は担当する基準数を考慮して配分することとし、配分された各WGの予算について平成19年4月18日(水)までにグループリーダーへ連絡することになった(当委員会幹事会が対応)。

8. 次回の開催時期および方法

次回のグループリーダー会議の開催時期は未定であり、必要に応じて適時開催する。なお、委員会の予算支出を抑えるため、開催に際しては電子会議を積極的に採用する。

9. その他

平成19年5月25日(金)に開催予定の室内試験規格・基準委員会の主な議題である基本方針、WGメンバー、目次に関する資料は、平成19年5月23日(水)までに当委員会幹事会および地盤工学会事務局へ送付することになった。

また、グループリーダーからの要請により、以下の ~ の資料を平成19年4月18日(水)までにグループリーダーへ送付することになった(当委員会幹事会が対応)。各WGが担当する基準の一覧表、WG幹事(当委員会)の名簿(連絡表)、WG幹事が複数の場合は幹事長の名前

以上